

巨樹・巨木シリーズ-13 埼玉県(その1)

細田木材工業株式会社
顧問 細田 安治

巨樹・巨木シリーズは東京都からスタートし関東、東北を経て埼玉県へ戻ってきた。今号も探索者U氏の調査資料をもとに東京のお隣さんにどんな巨樹・巨木そして奇樹・珍木に巡り合えるか楽しみである。

◇埼玉県とは

・東西に細長い形状

埼玉県は東西約103km、南北約52kmと東西方向に長い。周囲は7都県と隣接している。

・全国のビッグフォー

埼玉県は首都圏を構成、都道府県別の人口は東京都、神奈川県、大阪府、愛知県に次ぐ全国第5位。人口密度は、東京都、大阪府、神奈川県に次ぐ第4位で、財政力指数も全国第4位。このように埼玉県は全国のビッグフォーとも言える県である。

・東京のベッドタウン

昼夜間人口比率では、88.5%と昼間の人口流出度が全国1位であり、東京のベッドタウンとしての大きな役割を担っている。一方、通勤時間帯の交通アクセスは混雑が激しい。

・水の都

また、面積に占める河川の割合が多く、全国47都道府県で最大の約3.9%となっている。水の都と呼ばれる大阪府を抜き全国第1位だ(注：2015年に総務省が調査)。このデータは、河川が大好きな筆者にとって新しい発見である。海に面さない埼玉県が全国一の河川を有しているのである。また一つ知識が増えた。嬉しいね。

・地形の特徴

西側の山地部は関東山地に含まれ、その中央部に秩父盆地がある。秩父盆地東側の比較的標高の低い山塊は特に外秩父山地とも呼ばれる。西側の長野県境は日本海側との分水嶺を形成しており、その南端に位置する甲武信ヶ岳は千曲川、荒川、笛吹川(富士川の支流)の源流であるとともに、埼玉県・長野県・山梨県の県境となっている。その北には県最高峰である三宝山(2,483m)があり、県西部には関東山地が広がっている。巨樹・巨木・奇樹・珍木が多く存在している宝庫ともいえるのではないか。探索者のU氏もその点は熟知しているようだ。



写真1 埼玉県の地図

・甲武信ヶ岳

山梨県、埼玉県、長野県の3つ県境にある山で、標高は2475mである。山名の由来は、甲斐(山梨)・武蔵(埼玉)・信濃(長野)にまたがることから、とされている。一方で、拳こぶしを突き上げたような山容から、とする説もある。頂上付近まで樹林に覆われており、落ち着いた雰囲気の特徴である。日本百名山の一山であり、選出した深田久弥は「奥秩父のへそ」と表現している。

甲武信ヶ岳には中央分水嶺が通っており、源流は千曲川ちくまがわで、そこから荒川、笛吹川と分かれる。

千曲川は、信濃川と名を変え日本海へ流れ込み、笛吹川は釜無川と合流して富士川となり、太平洋へ注がれる。そして荒川は利根川、隅田川、江戸川、中川へと分流する。「木材や」は甲武信ヶ岳から流れ込む河川を最大限活用し発展を遂げてきた。「木材や」は河川の恩恵が原点であることを忘れてはならない。



写真2 甲武信ヶ岳にある千曲川源流

◇与野の大カヤ

樹齢約1000年 樹高21.5m 樹周13.5m さいたま市中央区鈴谷 金毘羅堂 国指定天然記念物 昭和7年(1932)

前号の冒頭で福島県の塩貝の大カヤをご紹介した。樹齢約1000年 樹高25m 樹周8.3m 福島県双葉郡楡葉町 福島県緑の文化財登録である。そしてこの塩貝の大カヤを全国ランキングでは第2位の巨樹と紹介したが、どっこい与野の大カヤと比べると樹高はほぼ同じだが、樹周では塩貝8.3m、与野13.5mであり、与野の大カヤがはるかに大きいことがわかった。



写真3 与野の大カヤ

カヤの用途でも新しい発見があった。カヤについての今までの知識としては、丸太は難しい、うっかり素人が手を出すと、ひどい目に合う難しい木であり、用途は碁盤、将棋盤や高級な細工物に使われるという程度であった。しかし調べてみると、カヤは「木の舟」の材料に使われていたことが本稿を進めるにあたり、初めて知ることが出来た。縄文時代より舟材として使われるほど水に強く堅固な木として人と密接な関係にあり、造船材として使われていたという。こんなことも知らずでは「木材や」の看板を下ろさなければと思うほど恥ずかしくもあり、その反面新しい発見があったことは嬉しくもあり楽しいことでもあった。

このカヤは雌樹めすじなので花をつける。4月中旬頃にひっそりと花が咲き、秋には楕円形の実をつける。応永年間(1394~1427)には、関東随一の巨木として世に知られていた。また「榧かやの木き金毘羅きんぴら」とも呼ばれ、古くから信仰の対象でもあった。数世紀にわたり風雪に耐えてきた太い幹と四方に張った枝ぶりからは、この地域の歴史を見守ってきた重厚さが迫ってくる(埼玉県教育委員会の案内板より)。

◇大久保の大ケヤキ

樹齢300年 樹高19.0m 樹周9.47.9m さいたま市桜区大久保町領家 日枝神社 県指定天然記念物 平成6年(1994)

まず、写真をご覧ください。このケヤキは神社の鳥居で護られ、また長い間地域の人たちから大切にされてきたのであろう。巨樹を崇め^{あが}お参りをする人の姿からこの樹が如何に巨大であるかをうかがい知ることができる。

さらに歳を経た巨樹には、注連縄と御幣で守られた大きな「うる」がある。なかにこの巨樹の御神体らしきものが見える。

コブで覆われたようなこのケヤキの巨樹に、神が宿る神秘的ななにかが漂っていると感じたのは筆者だけだろうか？

さいたま市教育委員会の案内によれば、人魚の肉を食べて800歳まで生きた八百比丘尼が植えたという伝説がある。

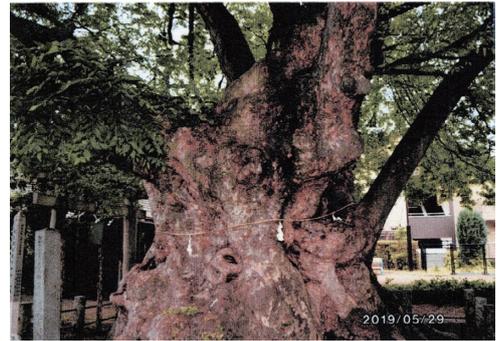


写真4 大久保の大ケヤキ

◇^{せいがんじ}清河寺の大ケヤキ

樹齢650年 樹高23m 樹周8.88m 埼玉県さいたま市西区 清河寺 埼玉県指定文化財天然記念物 昭和33年(1958)

ご神木として長い間崇められてきたこのケヤキは雄大な樹形を持ち、4月から5月上旬にかけて、雄雌異花の淡い黄緑色の小さな花をつける。「県の木」「市の木」に選ばれている。この樹の写真を見た第一印象は主幹の正面と枝分かれ部分に大きなコブがあり、しかもこのコブは2つとも動物の顔を思わせることに気が付きそして驚いた。主幹の部分にはブンブク茶釜のタヌキが頭巾をかぶり、酒入り大徳利を持って立ち上がったところに見えた。皆様どうぞご覧になられますか？

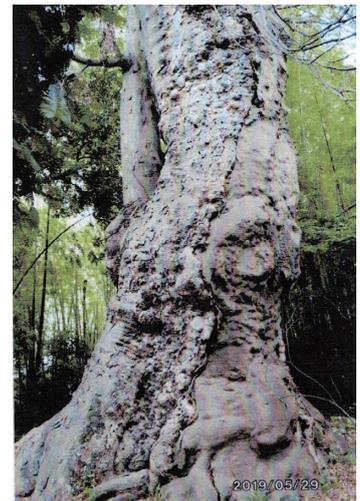


写真5 清河寺の大ケヤキ

◇^{すねおり}脚折の大ケヤキ

樹齢900年 樹高20.5m 樹周7.9m 埼玉県鶴ヶ島市大字脚折6丁目 県指定天然記念物 昭和7年(1932)

白髭神社境内に鎮座するこの大ケヤキは天然記念物に指定された当時は、樹高約36m、枝も20数m四方に生い茂っていた巨木であった。しかし、昭和47年(1972)に風雨と自らの重みで枝廻り3mの大枝が折損し、中心となる幹の3/1を裂き落下したため、翌年、腐食防止及び支柱工事、また平成6・7(1994)年には、樹木医による腐食部分の除去や殺菌剤の塗布、土壌改良等の樹勢回復の措置を行った。

このケヤキは脚を痛めて今にも倒れそうに傾き「脚折りのケヤキ」と呼ばれているが「負けるものか」と懸命に頑張っている。その上、関係者と

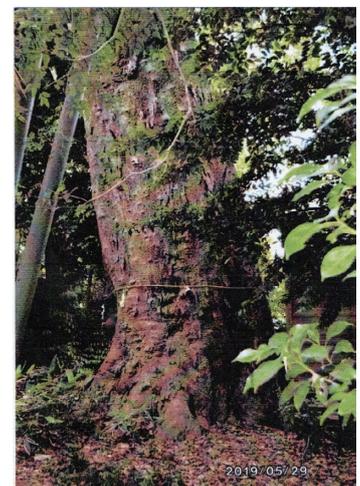


写真6 脚折の大ケヤキ

地元の手厚い保護を受け樹勢なお盛んなり、との印象を受けた。木も生きもの、養生をしっかりとすることと、周囲の温かい支援があれば、「いつまでも長生きできる」ことを証明している。人間社会も、本人の自覚にとともに、細やかな保護が必要と再確認した次第である。

◇土屋神社の神木スギ

樹齢1000年超？ 樹高28m 樹周8.6 根回り11.3m 埼玉県坂戸市浅羽野2-2-1 土屋神社境内

埼玉県指定天然記念物 昭和22年(1947)

古墳時代の終わりごろ(1400年ぐらい前)につくられた円墳の上に、土屋神社の社殿が建ち、その後ろに神木スギが立っている。このため樹齢が1000年を超えるともいわれている。古墳と神社を長い間見守ってきた文字通りの巨木だ。写真を見ると一見枯死したように見えるが、よく見るといくつかの



写真7 土屋神社の神木スギ

枝に青々とした葉が息づいている。この高齢の杉は地元坂戸の移り変わりを静かに見守ってきたのであろう。枯れ枝の伐採を行ったり、根を保護するため柵を設けたりしている。この神木スギも手入れが大事を物語っている(ここまで坂戸市教育委員会)。

この老木の1000年超は間違いなさそうだ。円墳(古墳)と神社と杉の木がセットになって造成されたと考えられるからである。杉の木を問わず針葉樹は広葉樹より寿命が短いと言われているが、この老木は、よくぞここまで風雪に耐え生き永らえたと思う。一見は、枯れ木に近い状態だが、青々と葉がついた部分もあり、老杉の生命力は驚嘆に値する。U氏の探索の中でも恐らく最高齢樹ではないか。ここでも行き届いた手入れと手厚い配慮のおかげで生命力が維持され、生き永らえていると心得る。木の生命力の強靭さは驚きの連続である。人も生き方により強靭さを保ち100歳までも元気でいられるはずである。この老木に元気をもらった思いである。

◇まとめ

埼玉県とは東京に隣接し首都圏の中核を担い、通勤電車の混雑ぶりは有名で、河川と都市化と田園地帯が入り組む多様な性格を持つ県、程度の認識しかなかった。そこで、埼玉県を巨樹・巨木の探索ツアーを切り口として、地形、河川、山岳などおさらいしながら稿を進めた。U氏の資料より、散々迷ったが結局14本を選び今号では6本をご紹介します。

読み返し推敲している時、偶然、東日本の分水嶺ともいべき甲武信ヶ岳に「木材や」の原点ともいべき木場の源流をご紹介しますことは嬉しい限りである。続く

ドラッカー言葉

マネジメントの三つ機能

- 第一の機能 事業をマネジメントすること⇒目標を作りマネジメントすること
- 第二の機能 経営管理者をマネジメントすること⇒経営者は働きやすい環境を作ること
- 第三の機能 現在と未来のマネジメント⇒現在と未来を同時に満足、調和、バランスさせる